

山形県の古木・名木 No.99

頼義の杉 (よりよしのすぎ)

村山市大字富並字外宿

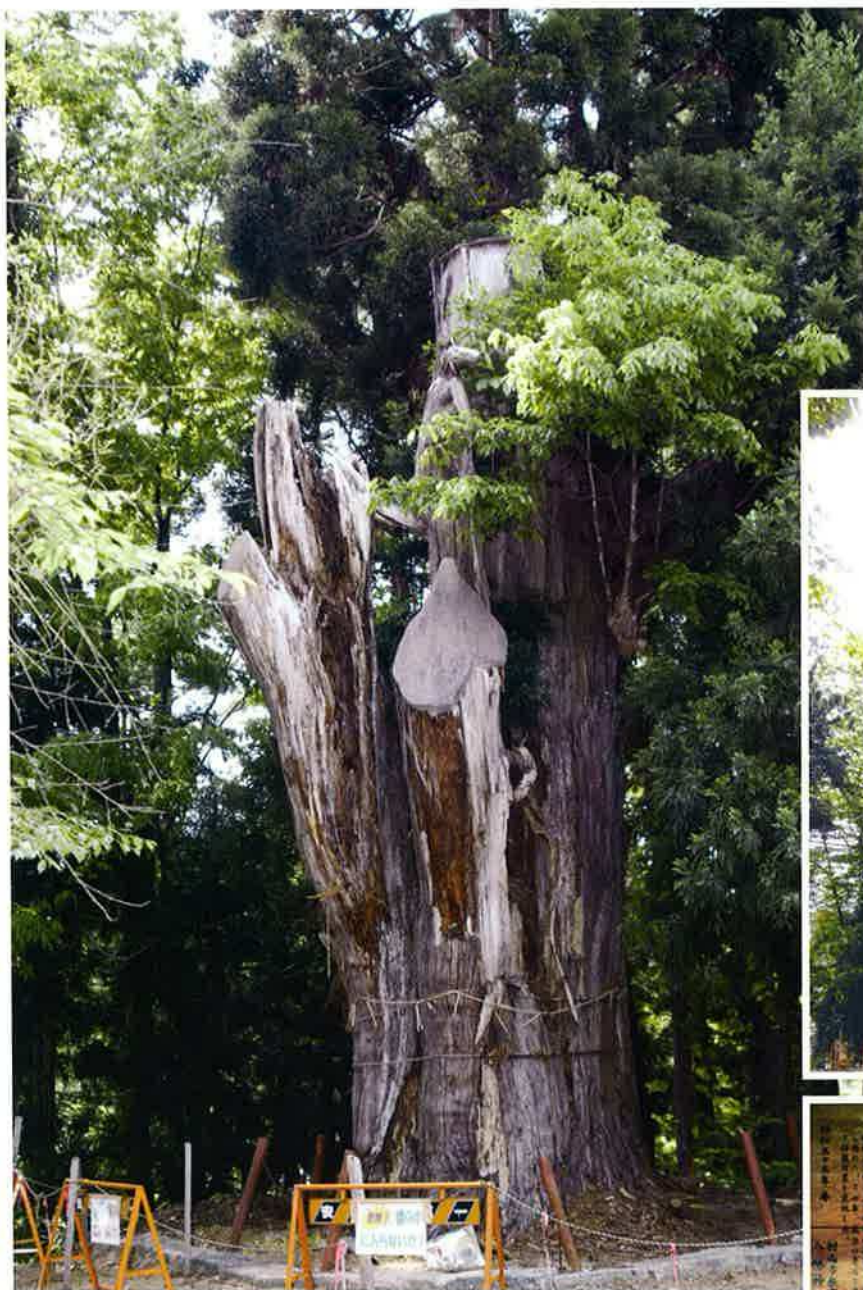
頼義の杉は、村山市の北北西、富並の八幡神宮にあり、言い伝えによると、康平年間に陸奥守鎮守府將軍源頼義が、当地の鬼甲城を攻め戦捷記念に植えられたもので、この名があるという。

この杉は、暴風により中断から折れてしまい、もう樹高成長は望めまいが、緑の葉がついている限り光合成が行なわれ、寿命のある限り肥大成長は止まることなく続き、一層神宿る木にふさわしい姿になるものと思われる。

昭和 34年 11月 5日、市指定天然記念物に指定されている。

〔山形県森林協会〕

(案内略図)



【森林やまがた124号(2009年11月)記載】